

旭川工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	工業英語	
科目基礎情報							
科目番号		0057		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科		電気情報工学科		対象学年		5	
開設期		後期		週時間数		後期:2	
教科書/教材		毎回プリント教材を配布する。					
担当教員		有馬 達也					
到達目標							
工業、特に電気回路・電子工学・電気計測・半導体工学などの英文を的確に日本語に翻訳できるようになる。日本語の専門用語が、英語でどのように表現されているかを学ぶ。また、日本語で学んできた専門を英語で再度学ぶことで、専門の復習にもなる。真剣に学び、英文和訳を得意なものにするのが目的となる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1(C-3)		電気関係の英文を正確に翻訳できる		電気関係の英文をだいたい翻訳できる		電気関係の英文を意味がわかるように翻訳できない。	
評価項目2(C-3)		専門用語が英語でどう表現されているか覚える。		専門用語の英語表現がだいたい把握できる。		専門用語の英語表現が覚えられない。	
評価項目3(C-3)		翻訳作業を通じ、専門の学習を行う。		翻訳作業により、専門の内容を思い出す		英文で記述された専門を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 電気情報工学科の教育目標④ 学習・教育到達度目標 本科の教育目標①							
教育方法等							
概要		電子、電流、電界、磁界、電気回路、電子回路など、電気工学の基礎的なについて説明した英文を日本語に翻訳する。					
授業の進め方・方法		毎回、プリント教材を配布する。英文を手書きで紙に書き写す。その後、英文を翻訳していく。					
注意点		英文、和訳した日本語の文章とともにボールペンを使った手書きの文とする。語数の多い電子辞書の使用が望ましい。普段スマートフォンやタブレットの辞書を使っているが、試験時には使用できない。 ・教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目の割合はC-3(100%)とする。 ・総時間数45時間（自学自習15時間） ・自学自習(15時間)として、日常の授業(30時間)のための予習復習時間、理解を深めるための演習課題の考察時間、および試験準備のための学習時間を総合したものとする。 ・評価については、合計点数が60点以上で単位修得となる。その場合、各到達目標項目の到達レベルが標準以上であること、教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目を満たしたことが認められる。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	電荷に関する英文の翻訳を行う。		電荷に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		2週	電界(1)に関する英文の翻訳を行う。		電界(1)に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		3週	電界(2)に関する英文の翻訳を行う。		電界(2)に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		4週	電流に関する英文の翻訳を行う。		電流に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる		
		5週	抵抗に関する英文の翻訳を行う。		抵抗に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		6週	直流回路に関する英文の翻訳を行う。		直流回路に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		7週	直流回路に関する英文の翻訳をさらに行う。中間試験を次週、実施する。		直流回路に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		8週	後期中間試験		中間試験を通じて、英文和訳に慣れ親しむ。		
	4thQ	9週	キャパシタに関する英文の翻訳を行う。		キャパシタに関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		10週	インダクタンスに関する英文の翻訳を行う。		インダクタンスに関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		11週	交流回路(1)に関する英文の翻訳を行う。		交流回路(1)に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		12週	交流回路(2)に関する英文の翻訳を行う。		交流回路(2)に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		13週	半導体(1)に関する英文の翻訳を行う。		半導体(1)に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		14週	半導体(2)に関する英文の翻訳を行う。		半導体(2)に関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		15週	ダイオードに関する英文の翻訳を行う。		ダイオードに関する英文を完全に理解し、的確な日本語に翻訳できる。		
		16週	後期期末試験		期末試験を通じて、英文和訳に慣れ親しむ		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	0	30	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0